

## 市長室から（9月15日記）

### 問題解決に向かって

暑い暑いといていた夏も終わり、山の木々も色づいてきましたが、市民の皆さんはいかがお過ごしでしょうか。

就任から5カ月が過ぎ、多くの課題に悩まされながら日々を過ごしています。

高校の事件は、大変残念なものでした。新聞報道でご承知のことと思いますが、私たちは一定の調査を行いました。なお不明な点も残されており市の手から離れた機関で調査を願うべきと判断しました。

調査の結果を待たなければなりません。今後このようなことが起きないようにチェック体制を整え、信頼回復に努めて参りたいと考えています。市民の皆さんには、状況を見守っていただければと思っています。

何より、子供たちが一生懸命に頑張っている三笠高校にダメージが生じないように、全力で取り組みますのでご理解をよろしくお願いいたします。

次に、警察署の分庁舎化についてですが、市民挙げての署名にご協力いただき、三笠市民の強い反対意思をお示ししていただきました。

この意志を道警にしっかりと伝え、市としての姿勢を貫徹しなければならないと考えています。

三笠のまちは毎年高校生が転入してきており、この子供たちが犯罪に巻き込まれないよう、しっかりと守らなければなりません。また、お年寄りのかたがたが多く、各町内会活動も沈滞しつつある中、地域を守る警察力に期待するところは大きいと言わざるを得ません。

交通量は富良野ルートが開通して以来、大変大きく増加しました。交通事故の不安は、常に付きまといます。

加えて国は、今まさに地方創生を掲げ、その総合戦略を市町村に求めてきています。

治安維持は、市町村が替わることができない警察固有の業務です。それでも分庁舎化を推し進めるならば、何か市民に被害が発生したとき、道警はどのように責任を取ってもらえるのでしょうか。引き続き市民の皆さんの力強いご支援をよろしくお願いいたします。

かねてから懸案であった市立病院の在り方について、岩見沢市、美唄市にご理解いただき議論の場を創り出すことができました。3市で今後の自治体病院の在り方について、まずは現状や互いに抱えている問題点を持ち合い、将来に向かってあるべき姿の検討を始めました。

現状のまま放置すれば、経営赤字の問題に加え、大学から医師の派遣が難しくなっている状況を見ると、数年後には、維持できなくなる心配が生じています。

具体的な議論はこれからですが、問題を共有し解決の道を探っていきたいと考えていますので、この点についても市民の皆さんには見守っていただきたいと思っています。

東清住の悪臭問題やまちの縮小により他にも沢山の課題を抱えながらの船出ですが、一つ一つ解決の道を探ってまいりますので、市民の皆さんの温かいご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

（広報みかさ平成27年10月号に掲載したものです。）